有 限 会 社 平 山 商 会

環 境 経 営 レ ポ ー ト

高崎山の猿”と”かぼす”をイメージした大分県のエコドライブステッカーです

対象期間　：　2024年1月～2024年12月

2025年　3月　31日

全国アドバンスクラブ会員

有 限 会 社 平 山 商 会

代表取締役　平山 憲一

環　境　経　営　方　針

企 業 理 念

当社は、風光り水澄む郷、西洋文化の花開いた豊の国大分市のスローガンである『笑顔が輝き、夢と魅力あふれる未来創造都市』をめざすため、自動車整備及び自動車販売を通じて、地域社会の発展の寄与すべく、環境の維持・改善に努め、クリーンな環境づくりに沿った車両整備の研究及び技術力の向上を図るとともに、地球環境を守り住みよい社会づくくりに日々努力を重ねていきたいと思います。

環 境 経 営 理 念

環境問題は、自動車整備・販売に携わる事業者として最重要課題です。

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、そして、水使用料の削減に取り組みます。また、エコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化による社会貢献に取り組み、継続的改善に努めます。

環境行動方針

当社は、環境理念に基づき『地球環境を守ろう』をスローガンに、環境との共生・調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。

そのために、以下の『環境行動方針』を定めます。

（1）二酸化炭素排出量・削減の推進（自社における削減）

電気使用量の削減　　灯油使用量の削減

ガソリン使用量の削減　　軽油使用量の削減

（2）廃棄物排出量・削減及びリサイクル、再資源化の推進

（3）総排水量・削減の推進

（4）エコ整備・エコ車検の推進（お客様における二酸化炭素の削減）

自動車における燃費の向上による削減や、有害な排出ガスの削減を目指す。

（5）グリーン購入による省資源化の推進

リサイクル自動車部品の積極的な使用。

（6）環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

2008年　4月16日 制定

2019年　1月31日 改定

全国アドバンスクラブ会員

有限会社　平 山 商 会

代表取締役　平 山 憲一

◆ 事業の概要

（1）事業者名

有 限 会 社 平 山 商 会

代表取締役　平山 憲一

所在地　〒870－1152　大分市上宗方1267番地

（2）関連事業所

平山商会車検センター

所在地　〒870－1141　大分市下宗方286番地の1

（3）環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者　　平山　憲一

連絡先　電話;097－541－0034　　FAX; 097－542－2369

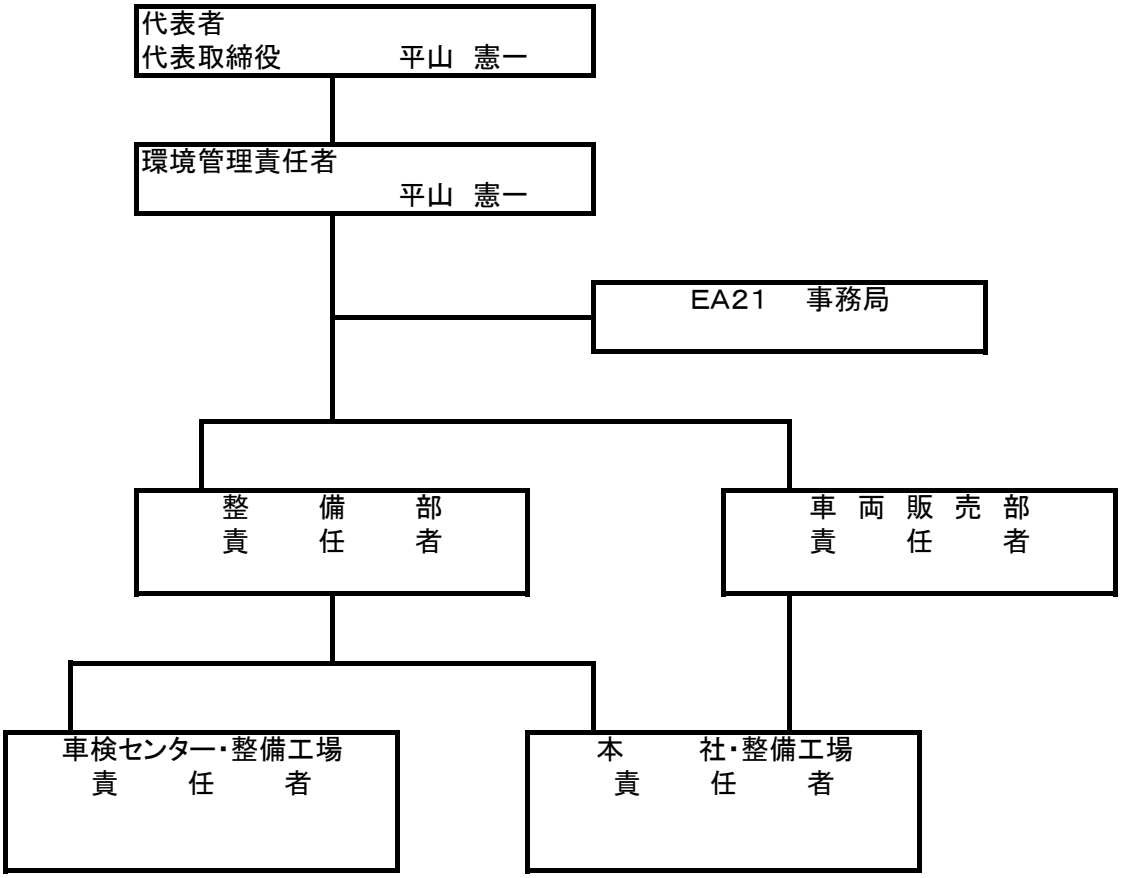
（4）事業規模

社員数	10 名
社屋床面積	394 ㎡

（5）事業内容

自動車販売・整備・損害保険代理店

（6）実施体制



（7）環境管理責任者の任期

社内全体に環境活動の認識を浸透させる為に、環境管理責任者は2年ごと社員の輪番とする。

役割と責任及び権限

作成日:　　2000年11月1日
更新日:

代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換
部門長	・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門における環境経営活動の実施、目標経営達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

◆環境経営目標

各年度の対象期間は、1月～12月

環境方針の番号	選択課題	基準年度 2022年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量)	43,332 kg-CO2	42,898 基準年度比 △1%	42,465 基準年度比 △2%	42,032 基準年度比 △3%
1-1	電力消費量 (電気使用量)	62,625 kWh	61,999 基準年度比 △1%	61,373 基準年度比 △2%	60,746 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	8,547 ℓ	8,461 基準年度比 △1%	8,376 基準年度比 △2%	8,290 基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量 (軽油使用量)	416 ℓ	411 基準年度比 △1%	407 基準年度比 △2%	403 基準年度比 △3%
1-4	灯油消費量 (灯油使用量)	281 ℓ	278 基準年度比 △1%	275 基準年度比 △2%	273 基準年度比 △3%
2	産業廃棄物 リサイクル率	100%	95%以上	95%以上	95%以上
3	水使用量 (水使用量)	355 ㎥	351 基準年度比 △1%	348 基準年度比 △2%	344 基準年度比 △3%
4	化学物質の適切管理	適切な管理を実施していく。			
5	エコ整備	顧客啓発を実施していく。			
5－1	(リサイクルパーツ使用によるCO2削減量)	4366.7 kg-CO2	4454.03 基準年度比 ＋2%	4541.4 基準年度比 ＋4%	4628.7 基準年度比 ＋6%
6	社会貢献への参加	地域の清掃活動 やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加 2回	地域の清掃活動 やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加 2回	地域の清掃活動 やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加 2回	地域の清掃活動 やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加 2回

電力のCO2排出係数は、2018年の九州電力調整後係数　0.347kg-CO2/kWhを使用。

二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.347＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58＋灯油使用量×2.49

◆環境経営目標の実積と評価、次年度の取組み内容

対象期間：2024年1月～12月
評価基準：〇100%以上　△90%以上100%未満　×90%未満

環境方針番号	選択課題	基準年度 2022年度実績	2024年度 目標 基準年度比△2%	2024年度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量（CO2排出量）kg-CO2	43,331.6	42,464.9	43537.2	97.5%	△
評価と次年度の取組内容	前年に比べ、軽油使用量がかなり増えた為、全体のCO^2排出量が増えたことにより目標未達だった。					
1-1	電力消費量（電気使用量）kWh	62,625.0	61,372.5	60,674.0	101.2%	〇
評価 次年度の取組	工場内の照明を水銀灯からLEDに換え、工場の事務所に省エネタイプの業務用エアコンを入れ替えた影響で、工場の消費電力を抑えることができた。					
1-2	ガソリン消費量（ガソリン使用量）ℓ	8,546.9	8,375.9	8,940.6	93.7%	×
評価 次年度の取組	前年に比べ、販売台数の増加、整備入庫の増加により、ガソリンの使用量が多くなった為、目標未達だった。					
1-3	軽油消費量（軽油使用量）ℓ	415.6	407.3	535.0	76.1%	×
評価 次年度の取組	ロードサービス増により、積載車の稼働があがり、軽油使用量が多くなったため。					
1-4	灯油消費量（灯油使用量）ℓ	281.0	275.4	145.0	189.92%	〇
評価 次年度の取組	工場の事務所の業務用エアコンを換えたことにより、灯油ストーブを使わなくなったことが、大幅な減少につながった。					
2	産業廃棄物　リサイクル率	100%	95%以上	100%	100%	〇
評価 次年度の取組	環境経営目標は達成した。要因は、日ごろから、廃棄物、有価物の分別は積極的に実施している。社員の意識も高い。5S活動も併せて、積極的に取り組んでいる。今後共、緩むことなく活動を実施していく。					
3	水使用量（水使用量）㎥	355.0	347.9	355.0	98.0%	〇
評価 次年度の取組	車検整備入庫増により、洗車回数が増え、水使用量が増えたが、節水を心掛けているので、かなりの増量にはならなかった。					
4	化学物質の適切管理	－	適切な管理を実施していく。	適切な管理が実施できた。	100%	〇
評価、次年度の取組	適切に管理ができ、環境経営目標を達成した。今後共、適切な管理を実施していく。（スプレー缶）					
5	エコ整備（台数の増加）台	－	顧客啓発の実施	顧客啓発が実施できた。	100%	〇
評価、次年度の取組	適切に顧客啓発が実施でき、環境経営目標を達成した。今後共、適切な管理を実施していく。					
5－1	リサイクルパーツ使用によるCO2削減量	4366.7	4541.37	6362.7	140%	〇
評価、次年度の取組	整備入庫増により、リサイクルパーツの提案も増え、大幅に削減できた。今後もリサイクルパーツ使用による地球環境保護の意識を向上させ、更なる削減を目指したい。					
6	社会貢献への参加　回	－	2	2	100%	〇
評価 次年度の取組	今年度は、入庫が増えた割に人員不足であり、中学生の職場体験を受け入れられなかった。次年度は、受入れ学校数を減らすが、受け入れたい。					

◆ 2024年度の環境経営計画 社内評価

（1）数値目標を達成するための取組 ： 各担当箇所ごとのチェック

環境経営計画の実施項目	実績評価			
≪ 本 社 ≫	4か月評価			
1）二酸化炭素排出量の削減 ：	3月	6月	9月	12月
a）電力の削減 ：（ 中尾 鮎美 ）	○	○	○	○
① 室内エアコンは、夏26℃、冬は22℃を原則とする。 ：毎日	○	○	○	○
② 買い替え時には、省エネタイプの機器を導入する。 ：毎日	○	○	○	○
③ 昼休みの照明消灯による節電、未使用時の消灯、パソコンは極力待機電力とする。：毎日	○	○	○	○
④ [節電]ステッカーを貼り節電意識の徹底を図る。 ：毎日	○	○	○	○
c）ガソリンの削減 ：（ 松尾 将也 ）	○	○	○	○
① 社用車の省エネ運転の推進。 ：毎日	○	○	○	○
② 整備車両の引取り、納車時のエコドライブの徹底。 ：毎日	○	○	○	○
③ 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。 ：毎日	○	○	○	○
④ 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検を実施する。 ：毎日	○	○	○	○
2）廃棄物排出量の削減 ：	3月	6月	9月	12月
a）整備部門 ：（ 松尾 将也 ）	○	○	○	○
① 産業廃棄物：金属クズ、廃プラスチック、廃バッテリー、廃タイヤ、廃油の分別・再生利用化・	○	○	○	○
熱回収・資源化 ：毎日	○	○	○	○
② 一般廃棄物：新聞紙は塗装のマスキングに再使用する。 ：毎日	○	○	○	○
b）事務部門 ：（ 中尾 鮎美 ）	○	○	○	○
① 裏面紙の使用。 ：毎日	○	○	○	○
② 受信FAXをパソコンで確認後、必要な分だけプリントする。 ：毎日	○	○	○	○
3）水使用量（節水の取組） ：（ 松尾 将也・中尾 鮎美 ）	3月	6月	9月	12月
① トイレ排水の削減に努める 水量の調整。 ：毎日	○	○	○	○
② こまめに節水に努める。洗車時に流しっ放しで洗浄しない。 ：毎日	○	○	○	○
③ 節水を促す為の啓蒙表示をする。 ：毎日	○	○	○	○
4）エコ整備の推進 ：（ 松尾 将也 ）	3月	6月	9月	12月
① 説明用パンフレットを準備する。 ：毎日	○	○	○	○
② お客様にエコ整備の説明と普及を図る。 ：毎日	○	○	○	○
③ グリーン購入法特定調達品目、エンジン洗浄の実践と普及を図る。 ：毎日	○	○	○	○
④ エコタイヤの推進。 ：毎日	○	○	○	○
5）グリーン購入推進 ：	3月	6月	9月	12月
a）整備部門 ：（ 松尾 将也 ）	○	○	○	○
① 自動車リサイクル部品・使用の推進。 ：毎日	○	○	○	○
② 部品見積りの時に新品とリサイクル部品の価格差を示す。：毎日	○	○	○	○
b）事務部門 ：（ 中尾 鮎美 ）	○	○	○	○
① 事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。 ：毎日	○	○	○	○
6）化学物質の管理 ：（ 松尾 将也 ）	3月	6月	9月	12月
① 環境法規を遵守する。：毎日	○	○	○	○
② 使用、保管時の漏洩防止に努める。漏洩時には適切に処理する。：毎日	○	○	○	○
③ 適量の在庫を維持する。：毎日	○	○	○	○
7）整理・整頓・清掃・清潔（4S）の推進 ： （松尾 将也 ）	3月	6月	9月	12月
① まず整理（1S）、「要らないものを捨てること」から始める。：毎日	○	○	○	○

≪ 車 検 セ ン タ ー ≫	4か月評価			
1)二酸化炭素排出量の削減 :	3月	6月	9月	12月
a)電力の削減 :(坂本 初美)	○	○	○	○
① 室内エアコンは、夏26℃、冬は22℃を原則とする。 :毎日	○	○	○	○
② 買い替え時には、省エネタイプの機器を導入する。 :毎日	○	○	○	○
③ 昼休みの照明消灯による節電、未使用時の消灯、パソコンは極力待機電力とする。:毎日	○	○	○	○
④ [節電]ステッカーを貼り節電意識の徹底を図る。 :毎日	○	○	○	○
b)灯油の削減 :(緒方 勉)	3月	6月	9月	12月
① 冬季の暖房用灯油は、室内温度により調整し室温に応じて消火する。 :毎日	○	○	○	△
② 特別な場合以外はスチーム洗車を控える。 :毎日	○	○	○	○
c)ガソリンの削減 :(緒方 勉)	3月	6月	9月	12月
① 社用車の省エネ運転の推進。 :毎日	○	○	○	○
② 整備車両の引取り、納車時のエコドライブの徹底。 :毎日	○	○	○	○
③ 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。 :毎日	○	○	○	○
④ 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検を実施する。 :毎日	○	○	○	○
d)軽油の削減 :(緒方 勉)	3月	6月	9月	12月
① ディーゼルエンジンの社用車のエコドライブの徹底。 :毎日	○	○	○	○
2)廃棄物排出量の削減 :	3月	6月	9月	12月
a)整備部門 :(羽田野 信樹)	○	○	○	○
① 産業廃棄物:金属クズ、廃プラスチック、廃バッテリー、廃タイヤ、廃油の分別・再生利用化・	○	○	○	○
熱回収・資源化 :毎日	○	○	○	○
② 一般廃棄物:新聞紙は塗装のマスキングに再使用する。 :毎日	○	○	○	○
b)事務部門 :(坂本 初美)	○	○	○	○
① 裏面紙の使用。 :毎日	○	○	○	○
3)水使用量(節水の取組) :(坂本 初美)	3月	6月	9月	12月
① トイレ排水の削減に努める 水量の調整。 :毎日	○	○	○	○
② こまめに節水に努める。洗車時に流しっ放しで洗浄しない。 :毎日	○	○	○	○
③ 節水を促す為の啓蒙表示をする。 :毎日	○	○	○	○
4)エコ整備の推進 :(緒方 勉)	3月	6月	9月	12月
① 説明用パンフレットを準備する。 :毎日	○	○	○	○
② お客様にエコ整備の説明と普及を図る。 :毎日	○	○	○	○
③ グリーン購入法特定調達品目、エンジン洗浄の実践と普及を図る。 :毎日	○	○	○	○
④ エコタイヤの推進。 :毎日	○	○	○	○
5)グリーン購入推進 :	3月	6月	9月	12月
a)整備部門 :(羽田野 信樹)	○	○	○	○
① 自動車リサイクル部品・使用の推進。 :毎日	○	○	○	○
② 部品見積りの時に新品とリサイクル部品の価格差を示す。:毎日	○	○	○	○
b)事務部門 :(坂本 初美)	○	○	○	○
① 事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。 :毎日	○	○	○	○
6)化学物質の管理 :(羽田野 信樹)	3月	6月	9月	12月
① 環境法規を遵守する。:毎日	○	○	○	○
② 使用、保管時の漏洩防止に努める。漏洩時には適切に処理する。:毎日	○	○	○	○
③ 適量の在庫を維持する。:毎日	○	○	○	○
7)整理・整頓・清掃・清潔(4S)の推進 : (羽田野 信樹)	3月	6月	9月	12月
① まず整理(1S)、「要らないものを捨てること」から始める。:毎日	○	○	○	○

（2）その他の取り組み事項

環境管理責任者　（　平山　憲一　）	3月	6月	9月	12月
①　その他、環境に関する情報の収集。:随時	○	○	○	○
②　県、市の環境事業に積極的に協力していきたい。随時	△	△	△	△
環境管理責任者　（　平山　憲一　）	3月	6月	9月	12月
①　社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。　:1回/3ケ月	○	○	○	○
②　環境への取り組みを当社社員心得に明記し、意識の顕在化を図る。:毎日	○	○	○	○
③　始業前、周辺道路の毎日実施している清掃を継続する。:毎日	○	○	○	○
④　“エコドライブ10のすすめ”の推進を図っていきたい。:随時	○	○	○	○
⑤　環境活動の実施状況の評価　　:1回/3ケ月	○	○	○	○
事務責任者　（　中尾　鮎美　）	3月	6月	9月	12月
①　電気・燃料・水使用料のデータ管理。　:毎月	○	○	○	○

◆環境関連法規への違反、訴訟等の有無

遵守評価日：令和　7年 1月31日
評価者：平山　憲一

対象環境法規

（遵守評価は環境関連法規等の取りまとめ表にて実施しています。）

○ 廃棄物処理法　○ 自動車リサイクル法　○ 消防法
資源有効利用促進法　○ 騒音規制法　○ 下水道法
○ フロン排出抑制法

違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はあいません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

法規の遵守状況をチェックし、問題はありません。苦情もなし。

◆代表者による評価と見直し

（1）評価

① 良くできた事

CO2の削減目標値にわずかに届かなかったが、前年に比べ、売上が若干増えたので、未達だったことは、致し方無い。社内では、意識的に取り組んでいる。

工場内の照明を水銀灯からLEDに換えたことが良かった。

工場のエアコン一つ変えるだけで、電気の使用量が削減されたので、本社ショールームの設備も見直したい。

少しずつではあるが、社内の整理整頓、工程管理をし、作業効率を上げていくことが、意識的に進んできている。

② 改善が必要と考える事

工程管理をし、作業効率を上げることにより、代車の数を縮小して、経費・ガソリンの使用量を減らす。

無駄が無いか、社内で更なるチェックをし、経費・CO2削減に努めたい。

（2）見直し

項　　目	見　直　し　の　必　要　性
環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画	継続していく。実施評価に関して検討していく。
実施体制	継続していく。
EA21の仕組み、その他	継続していく。

（3）今後の方針

販売台数・整備入庫台数が少しずつ増加に伴い、売上も伸びてきているが、物価・原材料・燃料の高騰に伴い経費が増える傾向にある中、CO2削減に取組むことにより、経費削減につながる。

資金のかかる取組みではあるが、蛍光灯の2027年生産終了に伴い、照明のLED化を進める、本社に省エネタイプのエアコンに取換えていきたい。

2025年　3月　31日

代表取締役　平山　憲一